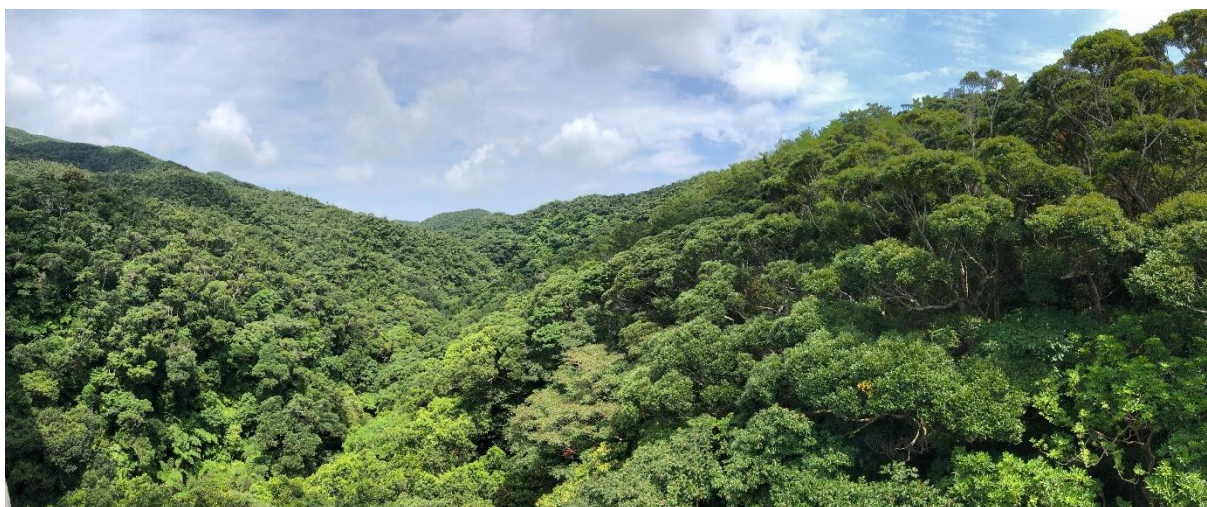


# アメリカハマグルマ防除マニュアル



令和8年3月

沖縄県 環境部 自然保護課

## 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 1. 目的 .....                         | 1  |
| 2. 種の特性等 .....                      | 1  |
| 3. 除去作業等の流れ .....                   | 2  |
| 4. 種の確認 .....                       | 3  |
| 5. 除去作業の実施 .....                    | 4  |
| 5. 1. 基本的な除去方法 .....                | 4  |
| 5. 2. 危険な場所での対処方法 .....             | 5  |
| 6. 衣服等からの切断片等の除去 .....              | 8  |
| 7. 除去植物体の処分 .....                   | 9  |
| 8. モニタリング・除去（地点根絶するまで除去作業を継続） ..... | 10 |

## 1. 目的

本マニュアル案は、アメリカハマグルマ防除の現場で得られた除去のための技術や留意事項などを取りまとめ、関係機関等との共有を図ることを目的とする。

## 2. 種の特性等

アメリカハマグルマは、アメリカ大陸原産のキク科の植物で、法面などの緑化用として県内各地に導入され、公園、農耕地、林道脇、河川、湿地等のさまざまな環境に侵入・定着している。繁殖力が非常に旺盛で、他の植物が生育できないほど繁茂するため、生態系や農作物への影響が懸念されている。

沖縄県では、県内に広く定着しており、生態系への影響が大きいことから、沖縄県対策外来種リストにおいて重点的に除去等の防除を実施する必要がある「重点対策種」に指定している。

表 2-1 アメリカハマグルマの外来種指定内容

|      |                                                |
|------|------------------------------------------------|
| 種 名  | アメリカハマグルマ <i>Sphagneticola trilobata</i> (キク科) |
| 指定内容 | 沖縄県対策外来種リスト(重点対策種)                             |
|      | 我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(緊急対策外来種)           |
|      | 世界の侵略的外来種ワースト100                               |

### 3. 除去作業等の流れ

アメリカハマグルマの駆除等に関する一般的な流れを図 3-1 に示す。  
以下、この流れに沿って解説する。

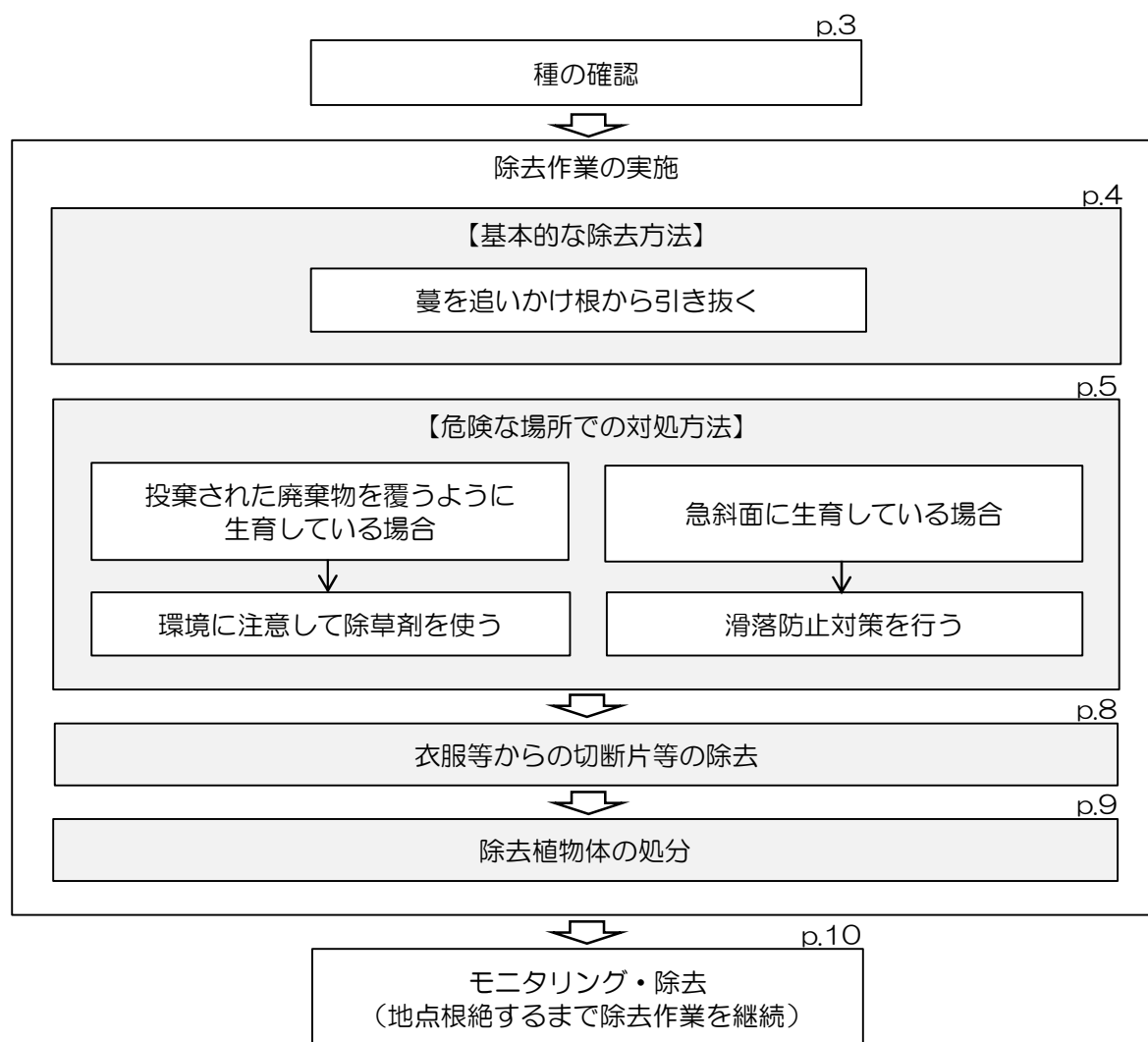


図 3-1 アメリカハマグルマの防除のための一般的な流れ

#### 4. 種の確認

葉の形状が似ている植物が同じような環境に生育していることがあるため、花の咲く時期に確認する必要がある。



図 4-1 葉の形状がアメリカハマグルマに類似する植物

## 5. 除去作業の実施

### 5.1. 基本的な除去方法

アメリカハマグルマは、地上に蔓を這わせながら根を張る蔓性の植物であり、蔓の伸長によって他の植物などを覆いながら成長する。また、切断片から根や芽が再生する。

このため、地上を這う蔓を追いかけ、根ごと引き抜くことが基本的な除去方法となる。他の植物と混生してアメリカハマグルマの駆除ができない場合には、作業効率も考慮して、当該地域植物の全除去を行う。

アメリカハマグルマの蔓は、地上を這っているので、蔓を追いかけて根ごと引き抜く（図 5.1-1）。



図 5.1-1 引き抜き作業の様子



図 5.1-2 茎（蔓）の切断片から  
発根、発芽した様子

タチアワユキセンダングサなどの外来種と混生している場合が多いので、写真のように全除去の方が効率的であり、モニタリングや2回目以降の駆除作業も効率的になる。



図 5.1-3 タチアワユキセンダングサ等外来種と密に混生していたため全除去を行った林道

## 5. 2. 危険な場所での対処方法

野積みされた伐採木や投棄された廃棄物を覆うように生育している場合があり、根ごと引き抜くことが困難である。このような場所では、希少な生物、水源地の存在などに留意して除草剤の使用を検討する。

また、急斜面に生育している場合もある。このような場合には、予め足場を設置するなど安全を確保して除去作業を行う。

### (1) 投棄された廃棄物を覆うように生育している場合

投棄された廃材などを覆うように生育する場合は、根ごと引き抜くのが困難であるため、周辺環境に配慮して除草剤の使用を検討する。



図 5. 2-1 投棄廃材を覆うように生育している様子

### (2) 急斜面に生育している場合

道路法面など急傾斜地に生育している場合は、事前の足場設置や命綱・ハーネスの着装など安全を確保して作業を行う。



図 5. 2-2 道路法面での足場の設置例

## 【その他の除去技術】

防除のためには引き抜きが最も確実な方法であるが、蔓切りによる応急措置、危険な場所での対処方法を提示したが、その他防草シート・透明シートで覆って衰弱させる方法、高温水で枯死させる方法などもあり、状況、条件に応じて使い分ける必要がある。

### ① 防草シート・透明シート

防草シートは、光合成を阻害し枯死・衰弱させるものである。

透明シートは、内部を蒸し焼き状態にして枯死・衰弱させるものである。

いずれも、少ない人手で除去する技術であるが、平坦地でなければ使用できないこと、透明シートは夏季高温時でなければ効果が見込めない可能性があることなどの短所もある。透明シートはビニールハウスの廃材を利用できる可能性もありコストパフォーマンスに優れる。



防草シート（奥）・透明シート（手前）の設置実験の様子



防草シート（左）・透明シート（右）による枯死・衰弱効果

## ② 温水除草

100℃の高温水でタンパク質を変質させ枯死させる技術であり、切断片が発生しないなどメリットもあるが、タンク車・機械車が近づける環境であること、地中根圏に浸透させるための除草や浸透まで多くの時間が必要であることなどから適用範囲は限られる。



温水除草の様子

## 6. 衣服等からの切断片等の除去

アメリカハマグルマは切断片からも再生することから、除去作業終了時には必ず靴底を洗い、衣服を払って他所へ拡散させないことを心がける。

アメリカハマグルマは旺盛な繁殖力を持ち、茎（蔓）などの切断片からも発芽・発根する。このため、衣服・靴底などに種子や切断片が付着し、人ともに移動する可能性があるため、除去対象地を離れる場合には、衣服や靴から払い落とす必要がある。



図 6-1 衣服や靴底から種子や切断片を除去する様子

## 7. 除去植物体の処分

除去したアメリカハマグルマ、個人で行う場合で少量であれば家庭ごみ（地域によっては草木ごみ）として処分することができるが、組織的に行い大量になる場合には、公的な焼却場で焼却処分する。

その際、焼却場まで運搬することになるが、切断片等による拡散を防ぐため、運搬を行う場合には、ビニール袋入れ完全に密閉した状態で運搬する。ビニール袋は運搬途中で破れる可能性もあるため、大量に運搬する場合にはトン袋などにまとめてから運搬する。

除去したアメリカハマグルマを焼却場まで運ぶ際には、飛散しないようビニール袋に梱包する。



図 7-1 運搬用ビニール袋とトン袋へのまとめ詰め込み



図 7-2 焼却場への搬入と計量の様子

## 8. モニタリング・除去（地点根絶するまで除去作業を継続）

|                                   |
|-----------------------------------|
| 除去作業後は、一定期間を空けてモニタリングしながら除去を継続する。 |
|-----------------------------------|

アメリカハマグルマの生命力は強く、一度の除去で根絶させることは困難である。

最短で2～3か月期間を設けると、未除去株が生育して確認が容易になる。逆に長期間空けると繁殖して除去成果が低下する可能性がある。

2～3回の除去作業を行い、モニタリングを行いながら根気よく除去作業を継続することが望まれる。

アメリカハマグルマ防除マニュアル

---

令和8年3月

沖縄県自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

TEL 098-866-2243

FAX 098-866-2240

[業務請負者]

外来種対策事業（植物対策）沖縄環境地域コンサルタント・南西環境研究所共同企業体

（株）沖縄環境地域コンサルタント

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖 1-22-3 2F

TEL 098-871-1135

（株）南西環境研究所

〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4

TEL 098-835-8411